

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	(株)クロス・サービス	代表者	岡部 純二	法人・事業所の特徴	ご利用者一人一人の人格を尊重し、住み慣れた地域での生活を継続出来るよう、地域住民との交流や地域活動への参加を図りつつ、ご利用者の心身の状況、希望および、その置かれている環境を踏まえて、通いサービス、訪問サービス及び、宿泊サービスを柔軟に組み合わせることにより、地域での暮らしを支援する					
事業所名	小規模多機能ホームてとて	管理者	西森 洋子							

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	5人	人	人	1人	2人	1人	人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・情報収集のための書式の工夫・書式の見直しを行う ・日々のカンファレンス、ミーティングを確実に行い、内容の充実を図る ・改善計画を全職員が理解し、年間を通じて実践できる ・常に職員同士で確認し合える関係作りを行う ・改善計画に対する取り組みをミーティングで評価し、運営推進会議で報告する 	<p>改善計画に関しては、毎月ミーティングで進捗状況を確認しながら、実践できるようしている</p> <p>改善計画については、毎回の運営推進会議で報告出来た。</p> <p>ミニカンファレンスは業務の煩雑さから時間が確保できなかったが、必要時には職員が集まり、話し合いはできていた。</p>	<p>事業所での取り組みや評価について、わかりやすくまとめられている。 ←少しずつ前に進んでいるのではないか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・改善計画を全職員が理解し、年間を通じて実践できる ・改善計画に対する取り組みをミーティングで評価し、運営推進会議で報告する
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の存在を知ってもらえる工夫をする(てとて主催のイベントの開催) ・散歩や清掃などを通じて近所の方との交流を図る ・事業所での運営推進会議の開催 	<p>・5月20日より、2ヶ月に1回、「てとてのおもてなし」を開催し、地域の方が少数ではあるが継続して来てくださっている。そこから紙粘土の作品作りの講師など、てとてでの地域の方と一緒に過ごす計画を立てることができている。</p>	<p>事業所には入りやすい環境になっていると思う</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「てとてのおもてなし(奇数月の第3日曜日14時～)」を継続し、事業所の存在を知ってもらえる工夫をする
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事への参加 ・来住地区的民生委員さんとの交流(事業所担当以外の委員さんを訪問するなど) 	<ul style="list-style-type: none"> ・例年通り、地域清掃には職員が参加できた。 ・寿会へは利用者と一緒に職員が参加できた。 	<p>民生委員も色々な事業所に行くことが必要かもしれない。 地域では隣接する事業所のイメージが強い。「てとて」という名前は浸透しているか? ←事業所の看板が見やすいものであればいいのではないか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事への参加

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の「行きたい」を叶える 利用者周辺の社会資源についての勉強会を行い、その人に合った資源の活用をする 	<ul style="list-style-type: none"> 地域資源に関しては運営推進会議で皆さんにご意見を頂き、地域MAPの追加・修正を行っている。 	<p>地域の行事にはよく参加してくれていると思う。事業所の利用者が地域のイベントに参加しているかということはお祭りなども含まれるのではないか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地域行事に各利用者が参加する機会をもつ
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> 事例検討を通じて困りごとを相談できる機会を作る 地域の方に教えていただく勉強会を行う ご家族に参加して頂ける工夫をする(具体的なテーマや内容を案内をお渡しする時に直接お伝えする) 	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議で、来住地区のご利用者を知っていただけるよう、事例紹介をさせていただいた。 ご家族に会議やイベントへ参加して頂く事はできなかったが、ご家族がてとてに来られた時に以前よりも目的を持って関わることができてきている 	<p>利用者の事例を全国大会で発表で来た ←この場で聞かせてほしい。 ←来年度の予定とします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 事例検討を通じて困りごとを相談できる機会を作る ご家族に参加して頂ける工夫をする(ご家族が参加したいテーマを募る) →ゆくゆくは家族会開催につなげていく
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> 毎月の避難訓練の継続(様々な想定で) 地域の防災訓練に参加し、事業所の役割を伝え、知ってもらう 事業所での防災訓練に地域の方にも参加してもらう(実施していることを知ってもらう) 	<ul style="list-style-type: none"> 毎月の避難訓練は継続しているが、地域の「てとて」の避難訓練には地域の方の参加をして頂く事ができなかった。 	<p>毎月の避難訓練を行っているので、地域の方にも参加して頂きたい。 ←機会を持って参加したい</p>	<ul style="list-style-type: none"> 毎月の避難訓練の継続(様々な想定で) 地域の防災訓練に参加し、事業所の役割を伝え、知ってもらう 事業所での防災訓練に地域の方にも参加してもらう(実施していることを知ってもらう)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 30 年 9 月 15 日 (19:40~21:00)
1. 初期支援（はじめのかかわり）	メンバー	中野・宇都宮・久米・栗国・山本・矢野・西森・上野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組めましたか？	0人	5人	3人	1人	9人

前回の改善計画	センター方式を活用し、スタッフ全員が得た情報を書きこみ、情報を共有する →新規利用者へのセンター方式の活用による情報共有
前回の改善計画に対する取組み結果	センター方式の書きこみは行ったが、全員で周知するまでには至っていない

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	1	7	1	0	9
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	1	6	2	0	9
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができますか？	2	6	1	0	9
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	0	6	3	0	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングでケアマネから新規利用者のおおまかな情報を教えてもらっている ・利用前にミーティングやカンファなどで事前に情報提供を行っている ・送迎時や連絡ノートでご家族にご利用者の状態、様子を伝える事で信頼関係を得ている ・送迎時間や利用時間など対応できている ・慣れていない利用者への声かけ、気づかいはできている ・ミーティングなどで情報を発信している ・新規利用者などの情報をミーティングや記録などで知ることが出来る ・職員全員が声掛けや気づかいなど共有できている ・担当をつけてセンター方式の記入に取り組めた ・利用時には小規模の利点を活用し柔軟に支援出来る様ご利用者に説明している 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・いきなり利用開始になった場合、情報がしっかりと得られていないままスタートになることがある ・利用中に知り得た情報の伝達が出来ず、スタッフ間の情報共有が十分にできていない ・情報を得て、口頭での伝達が多く、書き込みをする時間が少ない ・情報を知っている人と知らない人が居る ・得た情報を知っている職員と知らない職員がいる ・ミーティングや申し送りを通じて共有する時、一部は情報を送っていないことがある ・管理者、CMに寄った取り組みになりがち。携わっていない職員の理解 ・利用開始までに情報が得られていない 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
利用開始初日にセンター方式に情報を書きこむ時間を作る 日々リーダーを置き、業務の調整を行い、ミニカンファレンスをする時間を設定する	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 平成 30 年 9 月 15 日 (19:40~21:00)
2. 「～したい」の実現（自己実現の尊重）	メンバー 中野・宇都宮・久米・栗国・山本・矢野・西森・上野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組めましたか？	1人	6人	2人	0人	9人

前回の改善計画	センター方式の活用の継続 記録の見直しと改編 →「～したい」の情報収集
前回の改善計画に対する取組み結果	「～したい」の情報収集は各職員が意識してできるようになった。記録の改編を行い、職員全員が利用者の目標やケアプランを理解しながら動く事ができるようになった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかつていますか？	2	4	3	0	9
②	本人の当面の目標「～したい」がわかつていますか？	0	8	1	0	9
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	0	4	5	0	9
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かせていますか？	0	3	3	3	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 毎日の個人記録にその人の当面の目標が書かれているので（頻繁にミリ為）「～したい」が以前よりも身近になった 記録用紙に目標などが記入してあることで、スタッフ全員が目標を周知している 花見やイチゴ狩りなどの催しを提案し、参加を促している 日頃の様子や話から「～したい」を探ることはできている 利用者が「～したい」と言ったら情報収集シートに書いて、すぐに出来る事は実践できている 「～したい」の聞き取りは送迎や昼食時などに聞いて実施できるように努力している 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 関わることもあるのに、それをミーティングで共有できていない 「～したい」を実行しても本人の満足度、達成度が聞けていない（記録できていない） 聞き取りをしても「わからない」「なにもしたくない」と「～したい」の情報収集が難しい 全員の利用者に対し情報が得られていない 利用者に全く関わりが持てず、支援が薄くなっている利用者もいる 大きな事やすぐに出来ない事はなかなかできていない 取りかかれるかたから実施しているが、すべての利用者への実施はできていない 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
「～したい」の実現の為に計画を早く立ててシフトの調整をする ニヤリホットノートを復活させる	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 平成 30 年 9 月 15 日 (19:40~21:00)
3. 日常生活の支援	メンバー 中野・宇都宮・久米・栗国・山本・矢野・西森・上野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	5人	3人	1人	9人

前回の改善計画

- ・訪問利用状況一覧表を作り、記入活用しながら、活用できる物に修正していく
- ・訪問時の情報共有の対策立案と実施

センター方式を活用し、利用者の生活様式に対応した支援を行う

前回の改善計画に対する取組み結果

目標を理解して記録はできているが、気づきの記入ができていない
訪問の情報共有は同じメンバーが訪問することが多く、訪問しない職員には伝わりにくいことがある

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?	0	1	6	2	9
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができますか?	3	6	0	0	9
③	ミーティングにおいて、本人の声にならないう音をチームで言語化できますか?	0	4	2	3	9
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	7	0	0	9
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時に支援できますか?	3	5	1	0	9

できている点

200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・布パンツ・紙パンツ・オムツの対応、トイレに座れる方は、日中トイレでの排泄支援
- ・利用者の変化に対してはすぐに対応できており他の職員と情報を共有して当日勤務していた職員は知りえている
- ・訪問する前に記録などから情報を得ることで利用者に合わせた支援が出来ている
- ・支援した内容を記録、気付きに残している
- ・その日のリーダーを置く事で、リーダーが情報を把握し、他のスタッフもリーダーに報告することで情報の共有ができる
- ・訪問時のこと記入してのこしているのでどうするか? どういう声かけをしたか? の情報が理解できる

できていない点

200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・職員がよく知っている利用者と関わっていない利用者に差があり、「以前の暮らし」をあまり把握できていない方もいる
- ・以前の暮らし方が把握できていない
- ・現場にいない職員への申し送りが遅れる事がある
- ・気付きが記入されていない
- ・スタッフで訪問に行った事がある利用者と行った事が無い利用者があり、紙面での情報だけでは対応出来ない事がある

次回までの具体的な改善計画

(200 字以内)

個人別記録に気づきを 1 日 1 個は記入する

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 30 年 9 月 15 日 (19:40~21:00)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	中野・宇都宮・久米・栗国・山本・矢野・西森・上野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	5人	3人	1人	9人

前回の改善計画

サービス時間外の生活を知る
→「～したい」「～行きたい」を知る
ドライブや外出、外食で利用者の馴染みの場所に行く

前回の改善計画に対する取組み結果

「～したい」に対する関わりができつつあるので、去年の改善計画を継続していく

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	7	2	0	9
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	2	3	4	0	9
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	4	3	1	9
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	2	4	2	9

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・ケアマネからの情報提供でおおまかな生活スタイルは知る事が出来ている
- ・地域のイベントや掛かり付け医などへいけるようサポートできている
- ・ご近所の方や民生委員がご利用者を訪ねて来所されることがあった
- ・新しく立ち上げたイベントで近所の方が訪ねてくださり利用前の生活についての情報が得られた
- ・地域資源の情報
- ・利用者が通いに来られたときに「昨日は何をしていましたか」と声をかけ、過ごし方の情報を得ている
- ・毎日日程を決めて実行出来る様にしている（ドライブ・外食）

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・自宅での過ごし方が不明瞭な利用者が居る（独居の方やあまり話されない方）
 - ・利用者の地域資源が理解できていない
 - ・一部しか対応できていない
 - ・「～したい」の簡単ですぐに出来る事は支援できているが「～に行きたい」はできていない
 - ・家族の介護力が把握できていない
- 「～したい」の理解が職員でも差があり、行って良かったというケースもある

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

サービス時間外の生活を知る
→「～したい」「～行きたい」を知る
ドライブや外出、外食で利用者の馴染みの場所に行く

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 30 年 10 月 13 日 (19:40~21:00)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	中野・久米・栗国・中村・山本・矢野・西森・上野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	4人	4人	1人	9人

前回の改善計画	利用者の問題を事業所だけで抱えず、地域社会資源を活用し支援する
前回の改善計画に対する取組み結果	地域資源に関する情報収集は意識しながら行えてきている

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	4	4	1	9
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	4	4	1	0	9
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	3	6	0	0	9
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができますか?	3	5	1	0	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・体調やご家族の都合等に合わせてその都度対応できている ・ご本人、ご家族の希望に合わせ、その時々に合わせた通い・訪問・宿泊と柔軟に対応できている ・利用者の変化はその都度口頭で伝える事はできている ・ニーズに応じて適切に提供しており、ミーティングで共有できている ・地域資源の情報をを集めている ・その日、その時の利用者の情報を得て、通い・訪問・宿泊など支援できている ・本人から直接言われてことに対して話を聞き、対応している ・地域資源の情報は集まっている ・変化に気付いたら発信しあうようにしている 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・どうしても事業所での支援がメインになってしまい、地域資源を活用しきれていない ・地域資源が活かせていない ・不安定な状態にはなんとか対応しているが、ニーズを拾えていない利用者も居る ・地域資源の情報収集ができていない ・老人会などの地域行事への参加 ・ミーティングやミニカンファができるない ・変化にどのように対応したらいいのか、管理者・ケアマネ頼みのところがある 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
出勤した職員は、通いで来られた方全員と必ず会話し、内容を記録に残す 来住地区の地域資源の情報収集を行い、ミーティングなどで呼びかけ、行事に参加する	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 平成 30 年 10 月 13 日 (19:40~21:00)
6. 連携・協働	メンバー 中野・久米・栗国・中村・山本・矢野・西森・上野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	4人	1人	0人	9人

前回の改善計画	地域への発信（地域版でとてラインを作成し、配布する） →てとてイベントの開催（5月～） 町内のイベントにスタッフも参加する（町内会の行事やイベントの情報を得る） 寿会への参加
前回の改善計画に対する取組み結果	「てとてのおもてなし」を開催し、継続できている 町内のイベントへの参加は不十分であるが、利用者と一緒に寿会への参加は継続している

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	0	3	3	3	9
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	0	5	2	2	9
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	3	4	1	0	9
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	2	4	2	1	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・てとてのイベント（てとてのおもてなし）を開催し、地域の方がてとてに来てくださった ・寿会への参加 ・地域向けの広報誌を発行し配布している ・てとてのおもてなしを奇数月に開催している ・花火大会をして地域の方も参加してくださった ・イベントを通じて地域へ発信したり、交流できている 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方との交流の機会が少なく関係性ができていない ・会議などの参加はできていない ・腸内のイベントへの参加 ・利用者と一緒に参加できていない ・寿会への参加はできている時と出来ていないときがある ・多職種との会議が利用開始時に偏りがち 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
「てとてのおもてなし」をホームページに載せて、てとてを知つてもらう 来住のイベントで事業所に来られた方と積極的に交流し顔なじみになる	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 平成 30 年 10 月 13 日 (19:40~21:00)
7. 運営	メンバー 中野・久米・栗国・中村・山本・矢野・西森・上野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	3人	4人	2人	9人

前回の改善計画	運営推進会議へのスタッフ参加の継続(てとてでの開催) →ご家族の参加の推進(興味のあるテーマでの開催) 地域への発信(顔なじみを作り、遊びに来てもらう)
前回の改善計画に対する取組み結果	運営推進会議のてとてでの開催、職員の参加はできていない 「てとてのおもてなし」でてとてに来て頂くきっかけ作りになった 家族の参加は少ない

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	0	6	1	2	9
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	7	0	1	9
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	4	3	1	9
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	2	5	1	1	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 町内の清掃に参加したり、イベントでてとての紹介をしている 連絡ノートで意見等に対応している(個人の連絡ノートの書式など) 連進を通じて地域の意見を聞いている 苦情などはクレーム報告書を作成し、ミーティング・カンファで意見を出し合い振り返っている 利用者からの苦情や不満なことは管理者に報告し、改善出来る様に取り組んでいる 地域への発信は出来ていると思う てとてのおもてなしや花火大会などの催しのチラシを地域にも配布し、参加していただいている 地域展開への取組に積極的に参加し、他法人事業所ともつながりができたケースがあった 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 地域の方からの意見や苦情の反映 会議やイベントなどへのご家族の参加が出来ていない 地域との協働した取組ができていない ご家族や利用日以外の利用者が参加できていない 運営推進会議に参加したことが無い 意見の吸い上げが充分でない 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
普段、家族が来所した時に意識的に関わり、交流、情報収集をする	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 30 年 10 月 13 日 (19:40~21:00)
8. 質を向上するための取組み	メンバー	中野・久米・栗国・中村・山本・矢野・西森・上野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2人	7人	0人	0人	9人

前回の改善計画	勉強会の開催（研修参加者からの伝達講習など） 研修参加後の事業所でのフォローアップ →研修後の情報共有と取り組みの実施
前回の改善計画に対する取組み結果	研修前後に関わる役割を設け、毎回ではないが、振り返り、取り組みにつなげようとしている

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	8	1	0	0	9
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	6	1	0	9
③	地域連絡会に参加していますか	1	5	2	2	9
④	リスクマネジメントに取組んでいますか	2	5	2	0	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 全ての職員が社内外の研修に参加できている 研修の振り返りをミーティングでできている 小規模ネットや小野久米ネットに参加している 相互研修に参加している 毎日ミーティングで取り上げ話し合いを続けている 研修に参加し、ほかの職員に研修後の取り組みについて情報を共有し実施している 研修予定表から各自が選び、参加している 急変時の対応の勉強会もわかりやすく、何かあったときのためにも毎月積極的に参加したい 研修フォローアップ担当を決め、ミーティングで研修補足を話し合えている 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ミニカンファができるおらず、リスクマネジメントがきちんとできていない ヒヤリハットが減ってきている 参加したい研修も時間の折り合いがつかず参加できていない ほかの職員が参加した研修報告書に目を通していない 連絡会などは一部の職員の参加になりがち 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
研修担当係りを中心に、研修参加後の取り組みを継続し、振り返りを行っていく	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 平成 30 年 10 月 13 日 (19:40~21:00)
9. 人権・プライバシー	メンバー 中野・久米・栗国・中村・山本・矢野・西森・上野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	3人	4人	2人	0人	9人

前回の改善計画	複数スタッフでケアを行い、声を掛けあう ミーティング、毎日のミニカンファで発信と話し合いを行う →不適切なケアの防止
前回の改善計画に対する取組み結果	不適切なケアについての振り返りは継続的に行えている 複数人での介助も一部の利用者が対象であるが定着している

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	7	2	0	0	9
②	虐待は行われていない	2	7	0	0	9
③	プライバシーが守られている	3	5	1	0	9
④	必要な方に成年後見制度を活用している	0	4	3	2	9
⑤	適正な個人情報の管理ができている	3	5	1	0	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・身体拘束はしていない	・明らかな虐待は無い
・ミーティングなどで事故・ヒヤリハット・クレーム事例を振り返っている	
・虐待になるような不適切なケアがないようミーティングで話し合っている	
・ミーティングと毎日ではないがミニカンファを継続している	
・二人で介助することで利用者の負担を減らすことが出来、介助の仕方を見直すことができる	
・ミーティングで不適切なケアについての話し合いを継続し、実践している	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・グレーゾーンはある（「待って下さい」などの言葉かけ）	
・トイレの鍵が壊れていったり、耳の遠い方に大声でのトイレや入浴の声賭けでプライバシーが守られていない	
・申し送りなど利用者に聞こえている場合がある	
・どうしても人手がなく、一人介助をしなくてはいけないタイミングがある	
・ミニカンファが開催できておらず、情報共有やタイムリーな話し合いができるていない	
・利用者の話をじっくりと聞けていない	
・利用者の要望にすぐに対応できないことがある	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
職員の精神的余裕がない時は、他の職員に変わってもらうなど、自分のマインドコントロールできるよう全員で協力し合う（自分で無理な時は申告する）	